

障害者就労移行支援 ワークライフ・ポニーズ

就労訓練用作業棟を改築

快適な環境で就労目指して

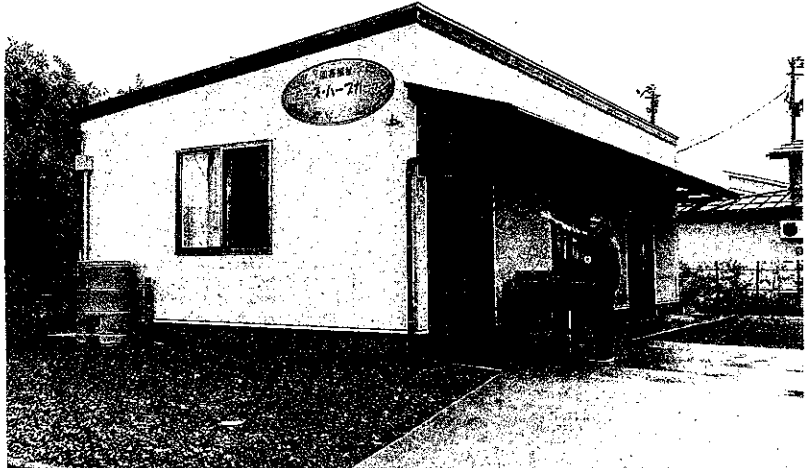
社会福祉法人上越妙高福祉会（上越市下門前）が運営する同市大日の障害者就労移行支援事業所「ワークライフ・ポニーズ」の新作業棟がこのほど完成した。一般企業への就職を目指し、利用者が快適に就労訓練に臨んでいる。

2年間で就職を目指す「就労移行支援」を行っている。隣接する実習農場での農業や園芸作業、受託による農産加工や軽度の機械作業をはじめ、接遇や清掃、コミュニケーション力、ビジネスマナーなどの訓練のほか、調理や洗濯といった生活訓練も行うなど、就労に必要なさまざまなプログラム

ラムを提供している。現在は平均年齢20代の10人が利用している。これまでは同じ場所にあったプレハブの建物を使っていたが、老朽化のため市の補助を受けて改築し9月末に完成した。平屋建ての床面積約60平方メートルで、エアコン完備。農作業用、受託作業用、生活訓練用の用途別に間

仕切ることができ、屋外には洗い場や日除けのひさしも設置。砂利敷きからコンクリート舗装になり、車の乗り入れもスムーズになった。

環境が快適になったことで作業効率が上ががり、利用者の訓練に向かう気持ちも向上しているという。飛田泰二理事長（42）は「人口減少や少子高齢化で働き手は減っている。障害者も高齢者も女性も、世の中で活躍できる仕組みづくりを法人としても目指していきたい」と話した。



完成した「ワークライフ・ポニーズ」の新作業棟

※ 記事の使用については上越よみうり様より承諾をいただいています。